



平成23年1月13日(木)  
 愛知県県民生活部文化芸術課  
 国際芸術祭推進室調整G  
 担当：陣内・岡田  
 電話：052-971-6114 内線 724-501・502

## あいちトリエンナーレ2010の結果概要について

あいちトリエンナーレ2010の開催結果の概要について取りまとめましたので、お知らせします。

最終来場者は、57万2千人と当初の想定30万人を大幅に超えました。アンケート調査では、全体的な感想として、来場者の79.7%が良かったと回答しています。

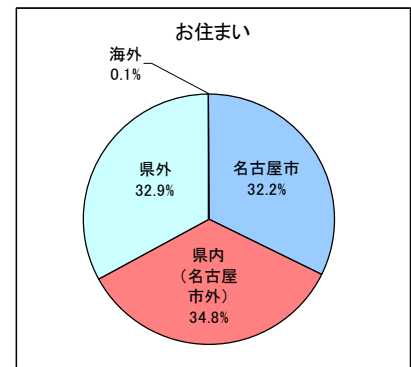
今後は、近日中に経済波及効果を発表するほか、成果・課題を整理した開催報告書を年度内に発行する予定です。

### 1 来場者について（別添資料3～5ページ）

最終来場者数は、57万2千人と当初の想定を大幅に超えた。来場者の地域別割合は、県外33%、名古屋市内32%、名古屋市以外の県内35%と、県内外から来場し、県外からの来場者のうち50%は、首都圏・京阪神からの方であった。

国際美術展（主要4会場）及びキッズ・トリエンナーレでは、中学生以下の割合が14.3%と非常に高かった。

一日当たりの来場者数は、会期末に向かって増加しており、県内外のメディアで大きく取り上げられたことや、来場者からの口コミなどが大きく影響したと考えられる。



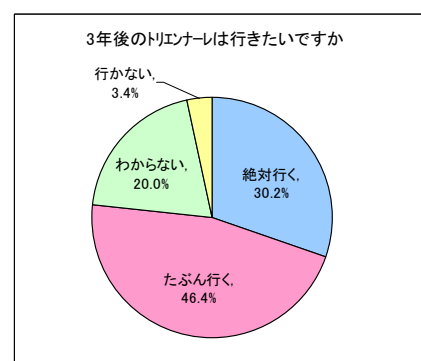
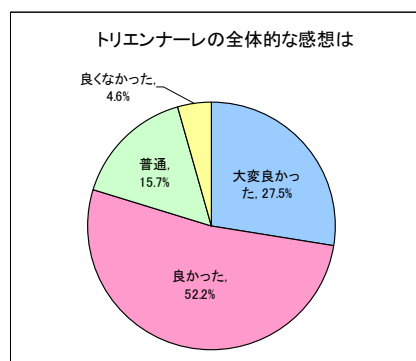
### 2 来場者の反応について（別添資料6～8ページ）

一般来場者の79.7%が「良かった」と回答し、76.6%が「次回のトリエンナーレにも行く」と回答している。また、子どもたちの86.6%が「楽しかった」、82.0%が「またトリエンナーレに来たり、作品を見たい」と回答している。

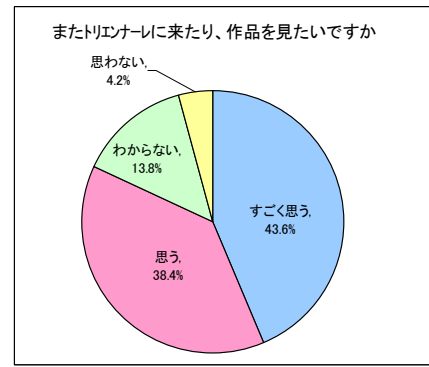
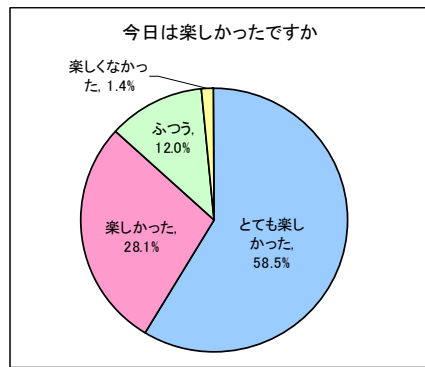
#### (1) 一般来場者

調査数

3,781人



(2) 子ども  
(中学生以下)  
調査数  
1, 269人



### 3 普及・教育 (別添資料9～10ページ)

国内初の取組であるキッズ・トリエンナーレには2万人を超える参加者があり、盛況であった。また、学校教育プログラムについても124校9千人を超える参加者があり、多くの子どもたちの来場につながった。

※学校教育プログラム：トリエンナーレの見所や現代アートの楽しみ方を伝えるガイダンスを行うとともに、鑑賞に際し、児童・生徒のヒントとなるワークシートを配布

### 4 地域との連携、県民参加

祝祭ウィーク(10月11日～17日)における地域文化芸術団体との共催公演には、約1万8千人の観覧者があった。また、1千人を超えるボランティアへの登録や、5千人を超えるサポーターズクラブへの登録など、多くの県民参加があった。

祝祭ウィーク共催事業	参加団体数	16団体
	観覧者数	17,967人
パートナーシップ事業(広報等協力)	参加事業数	498事業
ボランティア登録者数		1,289人
サポーターズクラブ登録者数(1月1日現在)		5,379人

※サポーターズクラブ:あいちトリエン

ナーレ2010を応援し、盛り上げていくためのメンバーを募集。開幕中は、交流場所(ATカフェ)を運営し、アートイベントなどを企画・開催した。緊急雇用創出事業基金事業を活用して運営を行った。

### 5 チケット販売状況

国際美術展入場券販売枚数は約17万6千枚、パフォーミング・アーツ及びオペラの入場券販売枚数は約1万枚であり、入場料収入は予算額の約40%増であった。

チケット販売状況(暫定値 ※現在、最終精査中)

項目	販売枚数	収入額	収入予算額
国際美術展	176,244枚	212百万円	151百万円
舞台芸術	10,272枚	56百万円	39百万円
計	186,516枚	268百万円	190百万円